

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、20.5～25.5℃台を示し、やや低い～平年並の水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――シケと月夜間に出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の50%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシ・マサバなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の67%（前年並み）。橘湾地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の75%（前年を下回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり36kgの水揚げで、前週の40%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり802kgの水揚げで、前週の56%（前年並み）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり634kgの水揚げ。北松生月地区では、シイラなどが1日1統当たり3.8トンの水揚げ。対馬西岸地区では、アジなどが1日1統当たり142kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり213kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり152kgの水揚げで、前週の61%（前年を上回った）。北松小値賀地区では、ヒラマサが1日1統当たり10kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/19～10/24日の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（礼文島・武蔵堆周辺海区・奥尻島）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～新潟沖～山形沖～秋田沖～青森沖～北海道西沖（武蔵堆周辺海区）にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣り船は、ケンサキイカを中心に漁獲、魚体は3立・4立入主体。